

ミツバ盗難警報機専用オプション 赤外線センサー TKP-06

取付・取扱説明書

TKP-06
MSM Ver1

このたびはミツバ「盗難警報機専用オプション 赤外線センサー」をお買い上げ頂きましてありがとうございます。この取付・取扱説明書は、本品の正しい使いかたや取り付けかた、使用上の注意について記載してあります。取付・取扱説明書を最後まで必ずお読み頂き、正しく本品を取り付け、お使いください。また、取付・取扱説明書が必要になったとき、すぐに利用出来るように大切に保管してください。

1. 安全上の注意事項

記号と意味は次のようになっております。

	警告	取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定されることを意味します。また、法律に違反することを意味します。
	注意	取り扱いを誤った場合、傷害を負う危険性が想定されることを意味します。また、物的損害が発生する恐れがあります。

ここには、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

	警告	本品は、ミツバ「ガードッグ CAシリーズ」との組み合わせで使用できます。他の商品との組み合わせは、車の故障や思わぬ事故の原因となりますので、絶対に行わないでください。
--	-----------	---

	注意	<ul style="list-style-type: none"> ● 本品を使用中に発生した盗難や事故については、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。 ● 本品は12V車にのみ取り付け可能です。24V車への取り付けはできません。 ● 本品の配線接続時は、バッテリーケーブルのマイナス端子を外してから作業してください。ケーブルを外さないで作業すると、配線がショートして火災・感電・故障の原因となります。外しかたについては、お近くのカーディーラーやサービスマニュアル等で外しかたを確認してください。車両搭載装置に影響する恐れがあります。 ● 車のバッテリーが弱っている場合及び車本来の機能に不備がある場合は、正常に動作しないことがあります。 ● 本品を高湿多湿な場所に設置しないでください。故障の原因となります。 ● 本品には水がかからないようにしてください。火災・感電・故障の原因となります。 ● 本品の分解、塗装、改造は絶対行わないでください。火災・感電・故障の原因となります。
--	-----------	--

2. 使用上の注意事項

	注意	<ul style="list-style-type: none"> ● 本品は、取り付け車種・取り付け状態などによりセンサー感度が異なります。正しく取り付けただで、必ず動作確認を行ってください。 ● 本品はセンサーの特性上、2つの赤外線センサー間に赤外線を遮るような障害物がある所ではお使いいただくことが出来ません。また、直射日光があたるような所では感度が著しく低下する可能性があります。 ● 本品を取り付けた場合は、バッテリー上がりの恐れがありますので、3日間以上の連続動作はお止めください。
--	-----------	---

3. 仕様

機種	TKP-06															
センサーレベル	レベル1（センサーが感知した場合、警戒ランクSにて30秒警報します。）															
機能	車内に赤外線を張り、その赤外線バリアが遮断されたことを感知します。															
構成部品																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>部品名称</th> <th>個数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>赤外線センサー本体</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>ハーネス</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>赤外線センサー</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>両面テープ</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	No	部品名称	個数	①	赤外線センサー本体	1	②	ハーネス	1	③	赤外線センサー	2	④	両面テープ	1
	No	部品名称	個数													
	①	赤外線センサー本体	1													
	②	ハーネス	1													
③	赤外線センサー	2														
④	両面テープ	1														
	電源電圧：DC12V 消費電流：待機時 0mA 警戒時 8mA 感知時 10mA 動作温度範囲：-5~60℃															

4. 取り付け方法

	警告	<ul style="list-style-type: none"> ● 配線類が挟み込まれたりすると、断線やショートし、本品や車の故障、さらには車両火災の原因となります。 ● ステアリングシャフトやペダル類等の可動部付近には固定しないでください。運転操作の妨げになり、事故の原因となります。
--	-----------	--

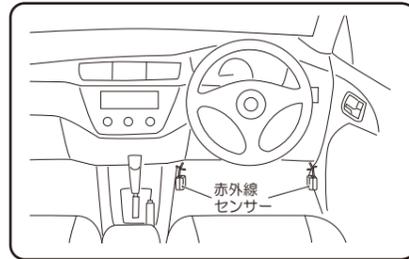
	注意	<ul style="list-style-type: none"> ● 運転中あるいはドアを開めるときの振動等で外れてしまうことのないよう、本品は、しっかりと固定してください。両面テープで固定する際は、取り付け面の汚れや油分をきれいに拭き取ってから貼り付けてください。 ● 本品は、運転操作の邪魔にならない所へ取り付けください。 ● 本品は防水構造になっておりません。水のかかる恐れのある場所には設置しないでください。 ● 本品は無線機、強い電波やノイズを発生する機器とは離れた場所に取り付けてください。動作不良の原因となります。 ● エアコンの吹き出し口には取り付けしないでください。高温になったり、結露の恐れがあり、本品の故障の原因となります。 ● 内装パネルやドアの内張りを外す際は、部品を破損しないように慎重に作業してください。パネルや内張り元に戻らなくなる恐れがあります。
--	-----------	--

(1) 赤外線センサーを取り付けます。

赤外線センサーは人の侵入を感知させたい場所に2つのセンサーを向かい合わせた状態で取り付けます。センサーの固定は、センサーに付いている両面テープを利用して、振動等で動かないようにしっかりと固定してください。

〔取付例〕 運転席への侵入を感知させたい場合

運転席足元の左右両側にセンサーを取り付けてください。



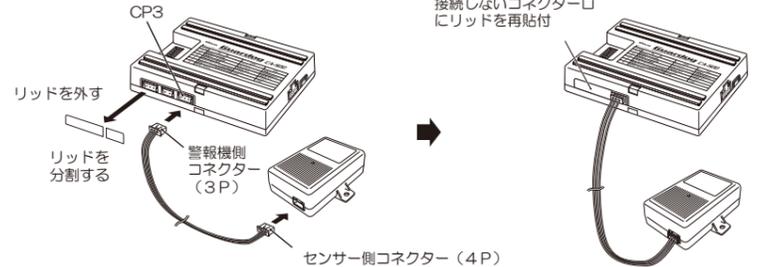
注意

- 赤外線線の送受光距離は、およそ1mです。2つのセンサーをそれ以上離すと警報状態となる恐れがあります
- 直射日光が当たる場所にセンサーを取り付けると、赤外線の有効距離が著しく低下する可能性がありますので、お止めください。
- 2つのセンサーの間に赤外線を遮断するような障害物（ペダル等）が無いようにしてください。警報状態となる恐れがあります。

(2) 赤外線センサー本体を警報機本体に接続します。

付属のハーネスの4Pコネクター側を赤外線センサー本体へ、3Pコネクター側を警報機本体のオプションセンサー接続口へ接続してください。

〔例〕 CA-500に接続する場合



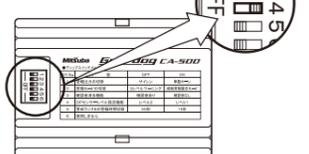
注意 警報機本体の接続ローフに対して、センサーレベル2のオプションセンサーと赤外線センサーとを並列に接続する場合

- 赤外線センサーと他のオプションセンサー（センサーレベル2）を並列に接続する場合は、赤外線センサーをセンサーレベル2としてご使用ください。（接続方法については、別途、警報機の「取付・取扱説明書」をご覧ください、「センサーレベル2どうしの接続方法」にて接続を行ってください。）
- 赤外線センサーの青コードを警報機メインハーネスの茶コード（ドアスイッチ入力線）へ接続すると正しく動作しません。

(3) 警報機のディップスイッチ（OPセンサーレベル設定）を「センサーレベル1」に設定します。

警報機のディップスイッチ(OPセンサーレベル)を「センサーレベル1」に設定することで、赤外線センサーが感知したときに警報機は警戒ランクSに達し、30秒警報します。

〔例〕 CA-500の場合



5. 動作確認

(1) 警報機をセットします。リモコンで警報機をセットしてください。

(2) 赤外線センサーが警報状態とならないか確認します。

警報機のスタンバイモードが終了し、警報機が警戒状態になったら、しばらく様子を見てください。このとき、2つのセンサー間で赤外線を送受信がうまく出来ないと警報状態となります。

赤外線センサーが警報状態となった場合は、下記事項を確認してください。

チェックしてください。	処置
● 2つのセンサーがきちんと向かい合っていますか？	センサー間できちんと赤外線が通信できるように2つのセンサーを向かい合わせて固定してください。
● 2つのセンサーを離しすぎていませんか？	赤外線線の送受光可能距離は、約1mを想定しています。ただし、直射日光が当たるような場所では、著しく短くなる可能性があります。
● 2つのセンサー間に赤外線を遮るような障害物はありませんか？	2つのセンサー間に障害物がないようにしてください。

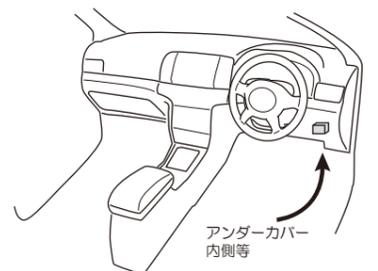
(3) 2つの赤外線センサーの間に手などを入れて、センサーが感知することを確認します。

このとき、赤外線センサーが反応すると、警報機は警戒ランクSに達し、30秒警報します。

6. 仕上げ

(1) 赤外線センサー本体を固定します。

センサーが正常に反応することを確認したら、赤外線センサー本体を車室内のなるべく目に付かない場所（アンダーカバー内等）に取り付けます。このとき、著しく高温・多湿になる場所は避けてください。また、赤外線センサー本体の固定は両面テープまたはインシュロックタイ等でしっかりと固定してください。



(2) 配線したハーネス類を整理します。

これまでに配線したハーネス類をビニールテープやインシュロックタイで確実に固定してください。

	警告	<ul style="list-style-type: none"> ● ステアリングシャフトやペダル類等の可動部付近には固定しないでください。運転操作の妨げになり、事故の原因となります。 ● 配線類が挟み込まれたりすると、断線やショートし、本品や車の故障、さらには車両火災の原因となります。
--	-----------	--

(3) 「設定内容確認表」へ接続状態について記入してください。

警報機本体の「取付・取扱説明書」の「設定内容確認表」へ接続状態を記入してください。万一、不具合が発生した場合のお問い合わせに必要となります。